

行政評価シート(事後評価)

コード (75) 7-1-1	事務事業名 子育て支援講座	所管部課 子育て支援部子育て支援センター(旧児童青少年部子育て支援課)
-------------------	------------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	現在子育て中の親に対して、子育てに関する確かな知識を育み、ゆとりを持って子育てができるように支援するとともに、学習の機会を通じ、同じ悩みを持ち合える仲間の輪を広げることを第一の目的とする。 また、地域住民の子育てに関する学習の機会を増やし、子どもと子育て家庭に対する理解を深めてもらい、地域の子育て力を向上させることも目的の一つである。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 子育て中の市民に対し、子育てに関するテーマで、保育サービスを併設した講座を実施したり、親同士の交流を深めることを目的に親子参加型の連続講座を実施する。	
事業開始時期	15 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	事業費(A)			353	310	240
財源内訳	国庫支出金・都支出金	千円	177	155	120	97
	地方債					
	その他 ()					
	一般財源		177	155	120	97
	所要人員(B)	人	0.40	0.66	0.50	0.30
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	3331	5402	4081	2448
	臨時職員等賃金(C')	千円				
	総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	3,684	5,712	4,321	2,642
	単位当たりコスト(E)=(D)/(開設講座数)	千円	217	179	166	165

評価指標の設定	活動等指標		単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	開設講座数	実績値	回	17	32	26	16
	実績値						
(指標の説明・数値変化の理由 など) 用意した講座数。							
一次	成果指標		単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	講座受講人数	実績値	人	698	1,103	925	
	参加人数一回平均	実績値	人/回	41	34	36	
二次	参加者の意識の向上	目標値					
		実績値					
(指標の説明・数値変化の理由 など) 一次は講座への参加者数と一回平均参加者数(大人のみ)。 二次は講座後アンケートの設問を工夫し、参加者の子育て家庭への理解の深まり度合いを確認する。							

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	市民から、父親の参加しやすい時間帯での実施について意見あり。	
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	近隣市では、事業費365千円で29回、174千円で8回、131千円で4回、676千円で56回実施している。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	生涯学習部や社会福祉協議会の事業や自主サークル活動で、類似事業・サービスを実施している。

コード (75) 7-1-1	事務事業名 子育て支援講座	所管部課 子育て支援部子育て支援センター(旧児童青少年部子育て支援課)
-------------------	------------------	--

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>地域の子育て力は今後益々低下の一途をたどることが想定され、子育てに関する学習機会も子育て団体育成も必要性は高まっている。</p> <p>本事業は、現在子育て中以外の市民にも学習の機会ともなり、子どもと子育て家庭の安全・安心・健康な生活の水準維持には不可欠な事業である。</p> <p>民間でも同種のサービスを提供しているが、質・量などを助案すると、当面は併行して行政の主体的な実施も必要である。ただし、何処までを行政の実施範囲とするか、受益者負担も含め、今後検討を要する点である。</p> <p>本事業開始から4年を経過し、事業内容等の見直し・改善は毎年行っており、一講座実施にかかるコストは軽減されている。しかし、所掌業務全体における相談業務の占める割合が年々増加している上に、今年度は要保護児童対策地域協議会設置に伴い、関係機関の連携がより強化され、相談業務に益々シフトしていかざるを得ない。</p> <p>よって、代替・類似サービスを実施している他課との連携等が必要な事業である。</p>
事業の必要性	3			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	1			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	2			

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>昨今の社会情勢を考えれば、子育て支援センターの事業の根幹である相談支援業務の充実を進めていく必要がある。しかし講座等の子育て支援事業も、現在の行政に求められている重要な施策の一つである。</p> <p>組織改正を契機として、母子保健及びひいらぎで実施する各種事業の検証を行い、さらには、基幹型保育園や公民館との連携を深め、類似事業の整理統合を図りながら、本事業については縮小を進め、これに代わる代替事業を活用することで、より効果的な実施に向け検討すべきである。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	2			

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業については、子育てに関する学習の機会として大事な事業であるが、民間団体や市内の他の組織においても類似の事業を実施している。</p> <p>一次・二次評価記載のとおり、講座事業については他の類似事業との整理・調整を図りつつ、子ども家庭支援センターにおける講座事業については縮小し、センターの根幹業務である相談支援業務の充実に努めていく必要がある。</p>